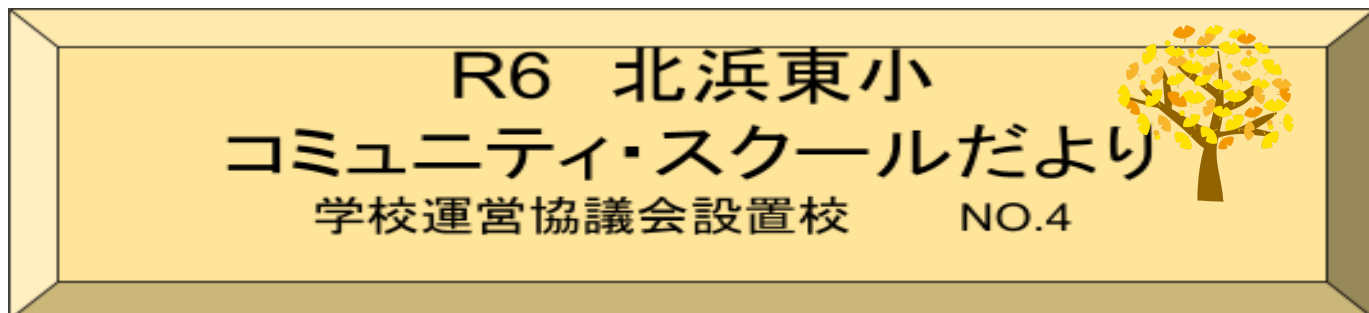




学校運営の進捗状況について考える

12月に行われた第3回学校運営協議会では、全国学力学習状況調査や子供、保護者、教職員の学校評価の結果、授業や行事の様子から、子供たちに身に付いていることと力を入れて指導したいことについて話し合いました。

委員の意見

- ・全体的に優しく思いやりがある子が多くて嬉しい。
- ・学校内での挨拶はできるようになってきたようだが、地域では挨拶が返ってこなくて寂しい思いをすることがある。
- ・文章を的確に読み取ったり、書いたりする力が弱い。話をしても何を言いたいのか分からないことが多い。語彙を増やすにはどうしたらよいのだろう。
- ・将来の夢を持たない子が多く心配だ。いろいろな人の働く姿や生き方を知った方がいいのではないか。

といった内容でした。良い面は継続し、足りない面を改善できるように教育課程編成の話し合いをしていきたいと思います。

今後も学校運営協議会委員の皆様へ助言や援助をいただきながら、学校運営を進めていきます。



「東っ子のびのび応援隊」の活動の様子をお知らせします

1. 読み聞かせ

月2回程度、朝の学級活動の時間に各教室に入り、読み聞かせをしていただいています。応援隊の皆様が、学年や季節などを考慮しながら絵本を選び、読んでくださっています。子供たちは、応援隊の皆様の優しい語り口に引き込まれ、夢中になって聞いています。毎回、「おもしろい。」「もっと読んで。」といった感想が聞かれます。応援隊の皆様からは、「子供たちが集中してきいてくれるので、やりがいがある。」といただきました。



2. 家庭科(ミシン補助)

5年生で初めてミシンを使って縫い物をします。今は、動画で糸の通し方や縫い方を確認することができます。しかし、実際にミシンを使うと糸の調子が整わなかったり、縫い方に不安を感じたりすることがあります。一人の担任が見ることができる範囲には限りがあり、担任を待っていたら時間切れになってしまったということがあります。そんなとき、応援隊の皆様のおかげで、疑問を早期解決し、安心して作業をすることができました。



3. 遊びランド

行事のない木曜日の昼休みに、「遊びランド」を開催しています。体育館では、バドミントン、特別室では、話を聞いていただいたり、トランプや折り紙などをして一緒に遊んでいたたりしています。地域のある方から「テニスやバドミントンが得意なのだけど、子供と一緒にやることはできないだろうか。」と声を掛けていただいたことがきっかけです。最近では、「竹とんぼがたくさんあるのだけど、学校で使わない？」との声を受けて、竹とんぼ教室も始まりました。今の子どもたちは、バドミントンや竹とんぼをした経験がない子がほとんどで、最初はうまくできずにふてくされる子もいます。しかし、しばらく練習するとできるようになり、「またやりたい。」という声に変わります。子どもたちの経験値を増やす機会を与えていただきありがとうございます。応援隊の皆様には、「子供たちと関わるのが楽しい。」と言っています。



今回は、3つの活動について紹介しました。その他、図書室整備、草取り、図画工作科、生活科、総合的な学習の学習補助などで御支援をいただいています。北浜東小は、子供だけでなく、保護者や地域の皆様にとっても居場所となることを目指しています。子供のよりよい育ちのためには、多くの皆様に関わっていただき、コミュニケーションをとる中で自信を持ったり、いろいろな生き方があることを知ったりすることが大切だと感じます。様々な人との出会いにより子供たちは大きく成長していきます。応援隊は随時募集しています。お仲間になりませんか。